

## 心が “ あったか〜く ” になりました。

昨年、第2学期終業式の日、下校する子どもたちにいつものように正門前で交通整理をしていると、どの子ども明日から迎える冬休みへ思いをはせ、ニコニコ顔で下校していました。

そんな子どもたちの列の中、突然低学年の女の子から1枚の紙が手渡されました。笑顔で渡した女の子は、下校の流れを崩さないように歩いていきました。渡された紙を見てみると、なんとそこには感謝のメッセージが綴ってありました。



校長先生へ

登校・下校のときに、いつも校門で見守ってくれてありがとうございます。

車が来るときには、旗を立ててくれたり、注意してくれたりして、ありがとうございます。

毎日立ってくれる校長先生に、私は感謝の気持ちで登校・下校しています。これからもよろしくお願ひいたします。

2年 ○○○○より

感謝されたいと思ってやっているわけではありませんが、こうして伝えてもらうとうれしくなってきました。

「心が、あったか〜くなります。」

こうした形にしないまでも、「いつもありがとうございます。」「寒い中、大変ですね。」と、たくさん子どもたちが声をかけてくれます。本当にうれしいですし、パワーになります。

現在は、「まん延防止等重点措置」が適用され、子どもたちによる「朝のあいさつ運動」もストップしていますが、こんな時だからこそ“顔をあげ、目と目で伝え合う”そんなあいさつができたらいいですね。

「第58回喜多方発感じる漢字あそび」 入選作品の「読み方」を紹介します！

A 客 無観客      B 餃 テイクアウト      C 圓 黙食      D 流 土石流